



住みたくなるまち

南区自治協議会だより

平成29年3月19日発行 第8号

区自治協議会は、区民の皆さんと行政との「協働の要」となるよう、区民の身近なまちづくりや地域課題の解決のため、多様な意見の調整や取りまとめを行っています。活動内容などについて、区民の皆さんに随時お知らせします。

第3部会活動報告

平成28年度 南区自治協議会提案事業

「第2回南区綱引き合戦」を終えて

第3部会 小林 加代子



昨年に引き続き、南区内の各地域交流、コミュニティ協議会同士のスポーツ交流を目的に、2月5日(日)に「第2回南区綱引き合戦」を白根カルチャーセンターで開催しました。

全8チームの参加に加え、各地域からの応援も駆けつけるなど白熱した試合となり、前回以上の盛り上がりとなりました。

また今年度は新たに、各チームを超えて色別で即席チームを作り対抗戦も行いました。昨年より他のチームの人と交流できたこと参加者アンケートでもご意見をいただくことができました。

今回の「南区綱引き合戦」により、一堂に会する機会が少ないコミ協が多く参加する貴重な交流事業を実施できたと思っております。今後も地域住民の交流のきっかけづくりになるような事業等を考えていきたいと思っております。

出場チーム、応援団の皆様、スポーツ推進委員、救護員、スタッフの皆様、ご協力大変ありがとうございました。

結果発表



優勝チーム 味方地区(パイナップル チーム)

- 優勝 味方地区(パイナップル チーム)
- 準優勝 白根地区(白根高等学校)
- 3位 月潟地区(月潟コミュニティ協議会)
- 4位 庄瀬地区(Show坊主 チーム)

※参加チーム:8チーム
新飯田地区、庄瀬地区、白根地区、鷺巻地区、大通地区、味方地区、月潟地区、自治協第3部会

第5期(平成27・28年度) 自治協議会の取り組みを振り返って

南区自治協議会 会長 棚村 真寿美

南区自治協議会の今期の主な取り組みを紹介します。

第1部会は、今後高齢者の大切な足となる区バスの存続のために、公共交通のPR事業として、利用啓発やガイドの発行を行いました。また、増加する犯罪を防ぐため、住民一人ひとりの防犯意識の向上を呼びかけ、さらに自治協議会委員自らが、「南区安心・安全みまもり隊」として地域の中で気づいたこと、気になったことも含め、地域を見守ることを宣言しました。

第2部会は、「家族のふれあいを大切にする南区」を掲げ、講演会や上映会を開催しました。非婚・少子化の歯止めとなることを期待し、小・中・高校生にも家族の大切さを伝えました。

第3部会は、平成27年度「南区たからいち」を開催しました。産業・観光の活性化のために、区内外に南区の物産や観光スポットをPRしました。また、「南区綱引き合戦」を開催し、各地域の交流と親睦を目的に南区の一体感を創り出す活動を行いました。

そして、上記したような様々な取り組みを広報部会は、自治協議会だよりで定期的に紹介し、PRに努めました。

今後南区が一体となって取り組まなければならない課題は多く、それゆえ自治協議会のように様々な団体が参画し、独特な知恵とアイデアが結集する場は重要です。協議の積み重ねによって実現したもの、尚も課題として残るもの、いろいろありますが、自治協議会委員各位の御尽力に心から感謝申し上げます。

第3部会活動報告

自治協議会提案事業

「食」に関する座談会を終えて

第3部会 本間 智美

第3部会では「6次産業化に向けてどのようなことができるか?」というテーマを掲げて活動をしています。調査を実施していく中で、「消費者が何を求めているか調査したほうがいいのでは?」という意見から、1月15日に「南区の食について考える座談会」を開催しました。

座談会は南区の主婦層を中心とした女性13名が参加し、コミュニティデザイナーの菊池宏子さんのファシリテーションにより実施しました。普段の食の選び方から、知らず知らずに選択している「食文化」について振り返り、自分たちが食に対して持っている欲求を区内で満たせるのかどうか?ということについて、話し合いました。

座談会では、①「食」を通した世代間交流によって様々な南区の文化を若い人たちに伝えられる場を作りたい。②地域の特徴的な食材を生かしたお店が地域を活性化するのではないか?③南区の宝物を情報発信する人が求められている、などの意見が出ました。

今後はこれらの意見を反映する活動も視野にいれていきたいと思っております。

